

令和6年度日中サービス支援型指定共同生活援助評価シート

評価日：令和7年2月20日

評価事業所名：ふわふわ古河西牛谷

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会記入欄】 ※グレー枠はプルダウンで選択 要望・助言・その他を選んだ場合は内容を記載
1. 地域に開かれた運営	①利用者に対する指定計画相談支援に提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 10名中、10名	■特になし
	②実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例) ボランティア：古河2高のボランティア部へ打診したが、希望が無かった。	■特になし ①積極的な受入れを要望します。
	③地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 無し	■要望・助言 ①利用者様の個性や特性など様々で、地域交流活動が難しい状況にあるのかもしれませんが、日中サービス支援型指定共同生活援助の「基本方針」(人員・設備・運営基準第213条の3) 日中サービス支援型指定共同生活援助の事業は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものでなければならない。また、地域住民又は地域活動との交流に努めているかが評価の視点となっています。事業所内でも、どのような形で地域交流及び地域活動が図れるか積極的に検討し、実践に繋げて頂きたいと思う。 ②交流会のような場を設定しなくても、普段の生活場面を見直すだけでも地域とのふれあいの場があるのではないかと思いますので、記載できる内容を探していただければと思う。 ③地域との連携は、努力義務ではあるが厚生労働省令(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)に基づく指定福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準)第74条にて規定されているところである。今回「無し」との回答であることから、事業者として今後取り組まれるよう要請する。 ④交流会が今後増えることを期待しております。 ⑤会費等の課題もありますが、町内会への加入を検討されると良いかと思います。地域の情報を得たり、顔の見える関係性を築ききっかけになるかもしれません。 ⑥市内のイベントや地域行事(行政区など)の参加には、移動手段や職員の同行等も考えなくてはなりませんが、参加交流の機会が増えると思う。
2. 常時の支援体制の確保	①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 日中・土日共に2～3人を配置。	
	②災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 消防計画・災害対策マニュアルの作成 避難訓練の実施(R6年度は5月・12月に実施) 災害訓練の実施(R6年度は3月に実施予定)	■要望・助言 ①BCPにつきましては、現場レベルでの事業所や地域の特徴や特性に合った具体的な業務継続計画が作成できるように検討をお願いします。また、BCP策定が終了ではなく、当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずること(研修の実施、訓練の実施し見直しや更新を随時実施)が必要ですので、災害時等が発生した際に有効かつ効果的に活用できるように研修や訓練の実施も併せてお願いします。 ②BCP(業務継続計画)について、事業者として策定をしているようであるが、その意味や内容を施設が十分に理解できているとはいえない。また当該計画に基づく訓練もしているかどうか、本報告では分からないことから、令和3年度介護報酬改定における改定事項で定める内容を施設として満たしているか疑問が残る。については、自立支援協議会の会議の中で委員長が仰ったとおり、施設に対して事務局に別途追加報告を求めるべきではないかと思料する。 ③本部にBCP計画があれば、現場でも共有していただきたいと思う。 ④防災に関する対応については、常に心掛ける必要があると考える。小さな訓練を繰り返す必要がある。保護者とも相談しながら行うことを要望します。
	③体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)連携している訪問看護事業所(MGK24茨城)へ連絡し、対応方法について指示を受ける。 →必要に応じて主治医や連携医療機関(ソフィアホームケアクリニック・県西在宅クリニック等)へ連絡。	■特になし
	④利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 嚥下状況に応じてペースト食～刻み食に対応している。また服薬や健康等による禁忌食がある方については、食材の変更を行っている。 (献立作成法) 食材提供者(タイハイ)へ依頼。タイハイが作成する献立を踏まえて調理を行う。	■特になし ①利用者の嚥下状況に応じた食形態に対応されていることは評価できる。 ②単にエネルギーの補給だけではなく、食事を楽しみに出来るような行事食やイベント時などのお食事も検討していただけたらいい。
3. 短期入所の併設	①地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 4名(現在は1名をLSで受け入れ) (古河1名)	■特になし ①緊急時に積極的な受入をお願いしたい。
	②緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(通常受入人数) 0名 (緊急受入事例) ふわふわ古河旭町緊急案件の2次的受け入れ先として稼働	■要望・助言 ①地域生活支援拠点事業の「緊急受入・対応」「体験の機会・場の提供」等登録していただき古河市の様々な緊急時のニーズに合った受け入れ先の一つになっていただきたい。 ②積極的に受け入れをされていることは評価できます。 ③可能なかぎり受入をお願いしたい。

4. 支援の実施・質の確保	①充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) ・買い物依頼があった際の対応(週2~4回) ・日帰り旅行やクリスマス等のイベントイベントを年3回実施	■特になし ①積極的に外出や余暇活動支援を行っていただきたい。 ②生活での楽しみとなるような余暇の支援があるといい。
	②支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) 研修(1)名 実務者研修 (自組織で開催した研修) 時期 1~2カ月に1回 内容 虐待防止・身体拘束・感染症等(レポート方式) 参加者 全スタッフ	■特になし
	③一定の研修を終了した者を配置しているか。	・強行動障害支援者養成研修【基礎】名【実践】名 ・行動援護従事者養成研修名 ・各痰吸引等研【第一号】名【第二号】名【第三号】名 ・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援過程名	■特になし ①行動援護従事者養成研修、各痰吸引等研、・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援過程を満たした人はいないのか、いれば記載願う。また、いないのであれば0名と記載願う。 ②研修終了者の確保を望む。
	④体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 0名 (体験利用の事例) (体験利用料金) 2,503円/泊(食費等含む) 円/泊	■特になし ①体験利用が今後増えることを期待している。 ②積極的に体験的利用を行っていただきたい。
	⑤改善や見直しに取り組んでいるか。	事業所における課題・助言を求めたいこと 毎月課題と目標を設定し、振り返りを行う(利用者・家族からの意見・希望) (利用者)・現場の中で適時本人へ声掛け ・モニタリング面接にて確認 (家族)・電話連絡の際に確認(苦情受付体制について) ・あり (家族等への連絡機会・頻度) ・外来受診の調整 ・預り金不足 ・外部サービスの利用 ・本人からの面会の依頼等々	■特になし
5. 利用者の権利擁護等への配慮について	①利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ・金銭管理契約書を作成 資料6参照 ・入金時に預かり書を作成 ・毎月の出納帳作成(本人か家族へ提示) (成年後見制度の利用支援及び利用者数) 0名	■要望・助言 ①食費・日用品費・光熱水費の利用者実費精算について、毎日に計算を実施されているのは大変素晴らしいと思いました。今後も適切な方法にて継続して行って頂きたいと思う。 ②確認事項になります。なかなか使用量が分かりづらいと思いますが、電気代や上下水道代について、日々の精算はどのように実施しているのか参考までにご教示頂ければと考えています。 ③光熱水費などの実費負担分の返金など、現場が把握していないのでは?と思われる状況だったので、改善が必要と考えます。 ④令和6年6月26日付け指定取消処分理由になった「過大徴収した食材料費」について、施設としてどのように改善したのか、この報告では不明確である。また委員から「過大に徴収した食材料費をどのように返金するのか」という質問を受けても、施設担当者が明確に説明できていない、さらに施設が誤解を受けようとする資料を協議会に提出していることから、この点について改善されているのか疑問が残る。施設に対して、この点についてどのように対応しているのか、再度事務局に報告を求めようとする。 ⑤金銭管理は適切に実施されていると思いますが、利用者や家族に疑念が生じないように清算等は適宜に実施していただきたいと思う。 ⑥利用者⇄事業所⇄本社機能において、しっかりと共通認識に立った管理を行っていただきたい。今回指摘のあった点についての改善点の報告を乞う。
	②利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) ・個人情報使用の同意書(プライバシーポリシー)の作成 ・個人情報書類は鍵付き書庫にて保管 ・個別支援計画書は本人または家族の署名 ・外部サービスの利用は本人または家族の同意を得て利用開始	■特になし
	③虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 4月 アンガーマネジメント 6月 虐待・身体拘束をなくそう 9月 スピーチロック 10月 小テスト 12月 虐待が発生するメカニズム (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 虐待無し	■特になし 毎月、虐待防止についての研修を実施しているのは素晴らしいと思います。虐待案件について、発見後に市への報告等はできています。ただし、複数件虐待と思われる事案が起きているので、今後は虐待を未然に防ぐ取り組みがあると良い。
6. 入居/退去状況について	①報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 1名 (報告・評価対象年度の退去者数の事由) ・退去者数 1人 ・主な退去事由: 対人関係の問題	■特になし

7. 他の日中活動サービスの利用	①GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(目をGHで過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) ・食事、入浴、清潔保持等の介護支援 ・掃除、洗濯等の生活支援 ・買い物同行や買い物代理対応等の社会生活支援	■特になし ①余暇の時間も楽しめるような活動や、本人の趣味が見つかるような支援などもあるとよりよくなるかと思う。
	②他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) ・他の日中活動サービスを利用10名中、5名(主な他の日中活動サービス種類・利用先) ・生活介護：ありがたうの花・いちばん星 青風荘つくし園 ・就労継続支援B型：総活躍古河(内職) ・行動援護：ADVANCE ・デイリハビリテーション：イルカゆかい ・訪問マッサージ：きらり ・訪問リハビリ：サルビア・県西在宅CL	■特になし ①日中、積極的に他の施設の利用をしており、利用者のニーズに寄り添った支援をされていると思う。
8. 利用者の健康管理	①日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護婦の訪問有無及び頻度) ・訪問看護の利用(MGK24茨城) 10名利用(週1~2回) ・往診(県西在宅CLまたはソフィアホームケアCL)10名利用(月1~2回) (健康チェック方法について) ・毎日のバイタル測定 ・食事摂取量の確認 ・訪問看護との情報共有 (緊急時連絡体制の確保) ・管理者への24時間連絡体制 ・訪問看護(MGK24茨城)への24時間連絡体制 ・往診医療機関への24時間連絡体制	■特になし ①年に1回程度の健康診断なども受けられるような機会があると良い。
	②相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) ①相談支援事業所 ・個別支援計画書の提示 ・他サービスの利用や支給量の相談 ・相談支援事業所のモニタリングでの状況報告 ②サービス事業所 ・連絡帳の記載 ・体調不良の連絡 ・本人への支援に関する情報共有や相談	■特になし
9. 他事業所との連携	[独自に「定める項目を記載」]		■要望・助言 ①来年度より義務化になる「地域連携推進会議」について、どのように実施していくのか検討をお願いいたします。地域との連携という点では、地域交流や地域活動に繋がっていく可能性もあると考えています。 ②サービス担当者会議や個別支援計画の面談において、原則本人参加となっています。障がいの個性や特性によってはなかなか難しい状況もあると思いますが、利用者様の意思決定支援を引き続きよろしく願います。 ③身体に障害のある方や長期的に退院が出来なかった方、医療的ケアの必要な方、強度行動障害のある方を積極的に受け入れられていることは評価にできます。今後も引き続き積極的な受け入れを期待します。
10. その他			
11. (2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応)	■特になし